

3人のギタリストのコンサート



松下隆二

7才より故坂本一比古氏のもとでクラシックギターを始める。
 1994年 渡仏しパリ・エコール・ノルマル音楽院に入学。
 アルベルト・ボンセ、パブロ・マルケス各氏のもと研鑽を積む。
 翌1995年 帰国。
 1996年 キューバにて開催されたハバナ国際ギターフェスティバルに参加。
 福田進一氏のリサイタルにゲスト出演する。
 ソロCD「アイム・ア・ストレンジャー・ヒア・マイセルフ」(2003)「さくらに寄せて」(2011) ヴァイオリニスト荒田和豊氏とのデュオCD「パッション・ダ・モーレ」(2006)をそれぞれリリース。
 2014年6月八女市政六十周年記念イベント「エンと、テンと」にギタリストの鈴木大介、詩人の谷川俊太郎両氏と共に出演。
 これまでに故ホセ・ルイス・ゴンサレス、レオ・ブローウエル、ペペ・ロメロ、トゥリビオ・サントス、福田進一、各氏のレッスンを受講。
 現在福岡市を中心に演奏活動およびレッスンを行なっている。
 唐人町ギター教室主宰。



岩崎慎一

大阪生まれ。ギターを松山豊樹、木村英明、藤井敬吾の各氏に師事。
 1993年スペインへ渡り、ホセ・ルイス・ゴンサレス氏に師事。また、井上幸治、フェルナンド・ロドリゲスの両氏にも学ぶ。A・ディアス、D・ラッセル、M・パビローニ、他のマスタークラスを受講。
 1997年、バレンシア交響楽団ヴィオラ奏者トリアン・イオネスク氏と共に「デュオ・アルペジオーネ」を結成するなど、2001年に帰国までの間、スペイン各地において多数のコンサートや録音等を行う。
 第23回クラシックギターコンクール(東京)、ホセ・ルイス・ゴンサレス国際ギターコンクール(アルコイ)優勝。その他、第43回マリア・カナルス国際ギターコンクール(バルセロナ)等のコンクールに入賞。現在関西を拠点にコンサート、教授活動を行っている。



池田慎司

北九州市生まれ。
 父の勧めで9才よりギターを堀幸悦氏に師事。ギターをする傍らで、和太鼓にも熱中するが、高校卒業と同時にスペイン留学を決意。アルコイにてギターをホセ・ルイス・ゴンサレス氏に師事する。留学中パーカッションも学び、その頃からスペイン音楽の他に、南米音楽と出会う。
 帰国後はソロ活動以外にも、他楽器とのアンサンブルやギターデュオなどにも力を注いでいる。またクラシック以外のミュージシャンとの共演も積極的に行い、様々な共演の中で、クラシックギター演奏の可能性を探求し続けている。これまでに「ブラジル」(ソロアルバム)・「フエン・ピアッヘ」(アコーディオン&ギター)・「サーキュレーション」(ギターデュオ)をリリース。

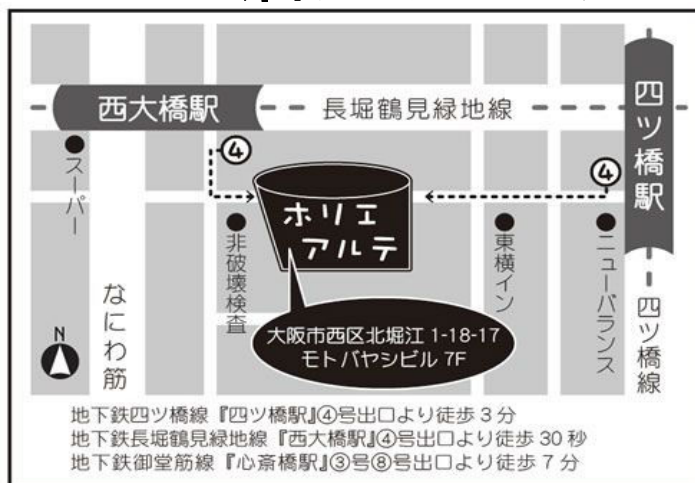
序奏とファンダンゴ (L.ボッケリーニ)
 スペイン舞曲第1番 (M.デ・ファリヤ)
 火祭りの踊り (M.デ・ファリヤ) 他

2014年

12月26日(金)

19:00開演 (18:30開場) 2,500円

堀江アルテ



予約・お問い合わせ 090 8234 3044

guitarraiwasaki1969@gmail.com (岩崎)